



■ 株式会社ダイテック クラウド事業  
 ■ 東京都品川区南大井 6-16-19 大森 MH ビル Tel. 03-5762-8660  
 ■ <https://www.kensetsu-cloud.jp/>

[twitter] <https://twitter.com/daitecloud/>  
 [instagram] [https://www.instagram.com/daitec\\_cloud/](https://www.instagram.com/daitec_cloud/)  
 [facebook] <https://www.facebook.com/DaitecCloud/>



プロモ隊の全国津々浦々 2022.5.23 創刊号  
**取材に行ってきました**

取材日：2022.4.22

株式会社 高栄ホーム 様  
 注文分譲クラウド DX 現場 Plus

滋賀県  
大津市

## クラウド化で全社的に業務効率が UP 成功の秘訣は「使い倒す」こと

琵琶湖の最南端に位置し、滋賀県最大の都市である大津市。京都からも在来線で約 10 分とほど近く、歴史と自然を身近に感じられる街。「取材に行ってきました！」の記念すべき第 1 回はそこに本社を構える高栄ホーム様にお話を伺いました。高栄ホーム様では約 3 年前から段階的にクラウドへの移行をすすめ、今では全社的な業務効率化に成功しています。今回、取材のとりまとめをしていただいた経営管理部 引地様、建築部 一井様をはじめ、各部門のキーパーソンに「注文分譲クラウド DX」のご活用について生の声をお聞きました。

### 「効率 UP で 2 人の業務がひとりに」

不動産流通課 森山 彩 様

私の担当業務は仲介物件の管理です。具体的には顧客情報の入力、仲介物件台帳の作成、仲介手数料の管理、媒介の更新管理などですね。以前はそれら全てをエクセルで管理していたので社内や仲介オーナーへの報告書作成がかなり手間でした。また、部門ごとに顧客管理を行っていたので、情報が共有されておらず、他部門に同一客先の情報が無いか照会することも日常的にありました。「注文分譲クラウド DX」導入後は、仲介物件台帳にデータを登録しておくだけで必要な報告書がワンクリックですぐに出力できるようになり、資料作成がとても楽になりましたね。また、顧客情報も部門を跨いで共有されるようになったので、いちいち連絡をとる必要もなくなりました。以前、2 人で行っていた業務を今は 1 人でこなせています。



「KOUEI Village」にあるカフェ兼本社事務所のエントランス。綺麗に手入れされた木々は四季によって彩が変わる。

### ライフスタイル発信地 「KOUEI Village」

JR 石山駅から北西に歩くこと約 10 分。国道沿いにそびえる工場の対面に突如、異国情緒溢れる空間が広がります。「KOUEI Village」は生活雑貨店や高級アウトドアショップからなる高栄ホーム様が提案するライフスタイル発信地。そのシンボルでもある南国の木々に隠れるようにカフェ兼本社事務所があります。

## 「席を立つ回数が減り、他の仕事もできるようになりました」

営業部 分譲住宅課 営業事務 主任 端由美子様

私の部署は営業さんが取ってきた契約の管理が主な業務です。契約日や入金予定日などの日程管理のほか、売上集計や営業さんの成績管理、補足資料の作成なども含まれます。従来の管理は紙ベース。情報のやりとりは内線や回覧で行っていたので「すぐにわからない」「外出先から確認できない」などの不都合がありました。「注文分譲クラウド DX」を導入してからはバラバラに管理されていた情報が、全てクラウド上に集約され、いつでもどこでもそこに行けば見える状態になりました。おかげで席を立つ回数も減り、他の仕事もできるようになりました。このように上手く軌道にのったのは、社長が「これを使うのだ」という強い決意を表明されたことが大きいと思います。実際、これらデータ入力は営業さん自身が支給されている iPad から行っています。もちろん最初から全員が使いこなせたわけではありませんが、私の方で簡易マニュアルを作成したところ、皆が使えるようになりました。

## 「電子受発注で月 10 時間の時短」

建築部 一井 叔美様 風折 華子様

2020 年 4 月、まさにコロナ禍の中、電子受発注を開始しました。三密を避けつつ協力業者さんに浸透させなければならず、苦勞もありましたがダイテックさんの協力もあり、なんとかスタートを切ることができました。それまではエクセルで実行予算を作成し、原価管理ソフトで発注書を作成、さらに別のソフトで発注書を送信していました。そして業者さんから送られてくる請求書は全て紙。まずは現場別に並び替え、工事部長がチェックしたら今度は支払に回すために業者別に並び替えます。それこそ何百枚とありましたから並び替えるだけで延べ 1 日の作業です。今は実行予算から支払までクラウド上で一元化され、紙の請求書も 7 分の 1 ぐらいに減りました。作業時間は少なく見積もっても 1 か月で 6 ~ 10 時間ぐらいは短縮になっていますね。協力業者さんからも好評で「わかりやすくなった」「自宅で作事ができるようになった」と喜びの声も届いています。

## 「3 つのデータベースを一元化」

経営管理部 次長 引地 邦夫様  
 那須 美鈴様

当社ではもともと部門ごとに大きく分けて 3 つのデータベースがあって、そこに問題意識はありました。ちょうどそのころダイテックさんからクラウドのご提案をいただき、検討を重ねた結果「これなら一元管理できそうだ」ということで導入を決定しました。導入当初は会計ソフトとの連携用マスタの整備などで苦労しましたが、今は仕組が整ってスムーズにデータが流れています。あとは使い倒すだけです。「注文分譲クラウド DX」を導入して一番の変化はすぐにデータが見えるようになったこと。検索をかければ見たい情報が明細レベルで確認できます。それまで手作業だった銀行向け振込データもクリックひとつで簡単に出力できるようになりました。複数あったデータベースを一元化できたのはトップが強い意志をもって舵を取ったことが大きいです。経営方針に「デジタル化の確立」を掲げ、二重入力を禁止するなどトップダウンで強力に業務改革を推進しました。データがひとつに集約された今、いわば宝の山を手に入れたわけですから、今後は BI ツールに連携して経営分析に活用していきたいと考えています。

### 編集後記

- 取材を通じて見えてきたのは各部門のキーパーソンの仕事への高い意識。常に課題と向き合い、改善に取り組むそのプロ意識こそが素晴らしいアウトプット（=いい家づくり）につながっているんだと納得。一番聞きかかった質問「どのようにしてクラウドを社内に浸透させたのか？」その答えは会社支給の手帳にありました。『住宅クラウドを使い倒す』社訓のページに印刷されたトップの強いメッセージ。なるほど、これが原動力か！と二度目の納得。高栄ホームの皆様、取材にご協力いただきありがとうございました。大変勉強になりました（江谷）。
- 今回、高栄ホーム様の取材を通じて、「注文分譲クラウド DXのおかげで紙の量が減った、残業時間が減った」とお客様のお声を直接聞くことができ、非常に嬉しく思いました。中でも、高栄ホーム様の経営計画手帳を見せていただいた際に「クラウドを使い倒す」といった文言を見つけたときには弊社一同感激でした。今後も引き続き、注文分譲クラウド DX を最大限活用していただければと思います。この度は、取材にご協力いただき誠にありがとうございました（東松）。

### 高栄ホーム DATA

創業 66 年。土地から建物、アフターまで住宅に係ることを一貫して行っている総合不動産企業。大津市・草津市・野洲市・湖南市・甲賀市を中心に年間約 150 棟を施工。大津市内での着工棟数ランキングでは 2015 年から連続して 1 位に輝く実績をもつ。また、家づくりのノウハウを活かしてカフェや雑貨販売を展開するほか、「ママコレ座談会」「OB 感謝祭」「親子ふれあい宅配便」など地域に密着したイベント事業も実施。強度に特化した「コウエイテクノ」、無理のないコストで実現できる「光の家」、どんな場所にもフィットするスキップフロアの家「BinO」、ママ目線の工夫が嬉しい「ママコレの家」とニーズに合わせた幅広い家づくりが叶う。